

WILCOMM

メッセージリストのユーザーオプション機能

AS0008 (Last Update : 2002/5/7)

WilComm AS400 V7.15

© Copyright 2000

K.I.S.S. Inc.



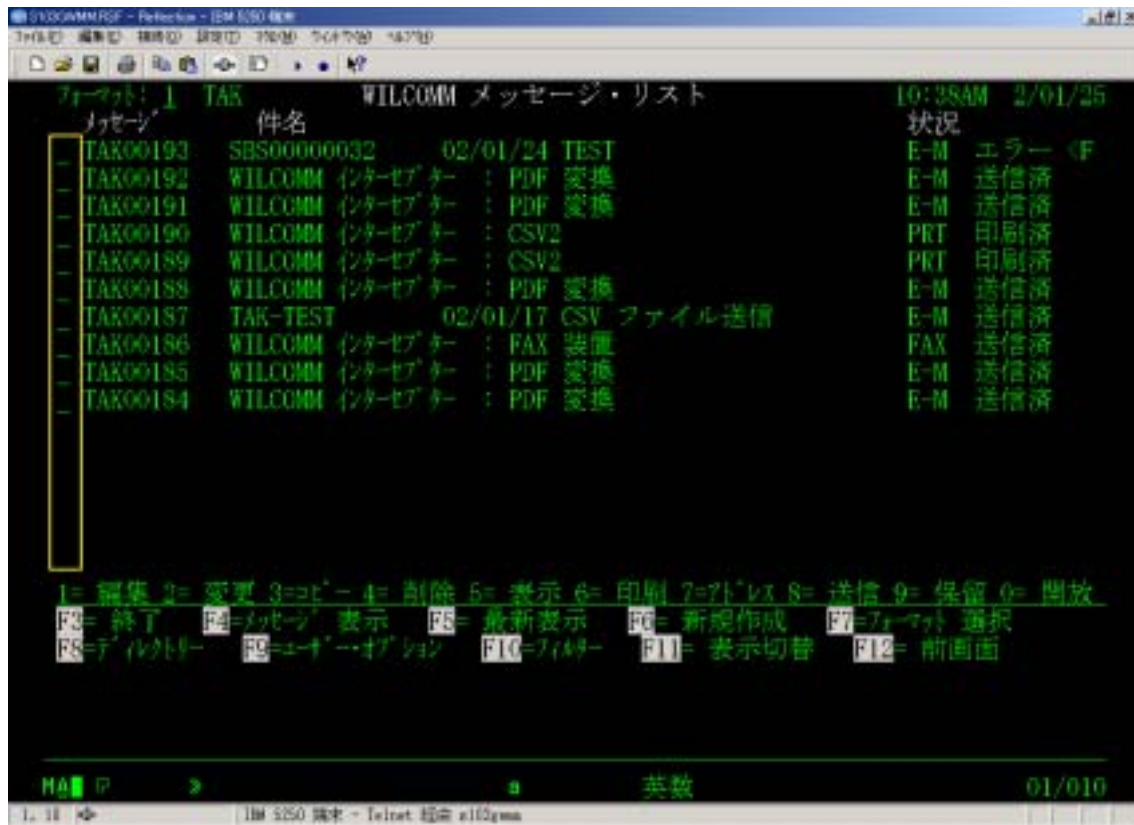
本解説書は、メッセージリストからユーザーが開発したプログラムをオプションとして起動させるための方法について解説しています。メッセージリストの基本操作を理解していることを前提としています。

目 次

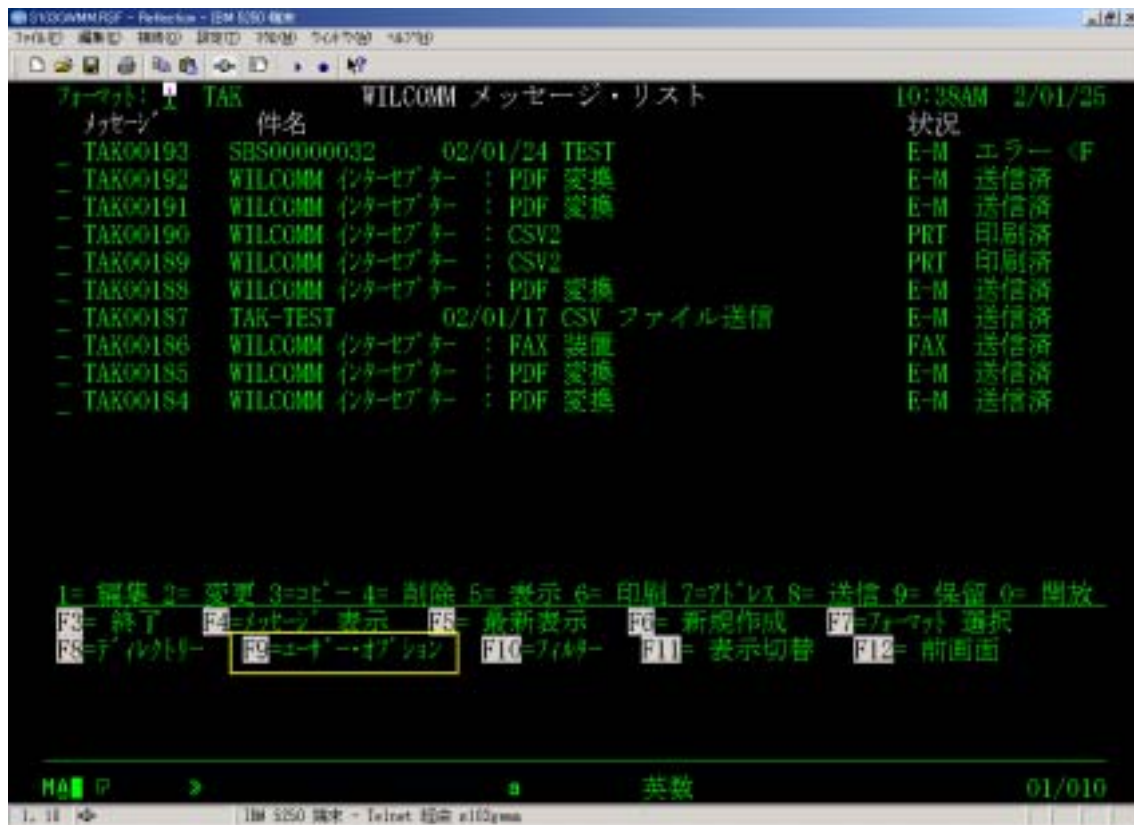
- | | |
|------------------------------------|----|
| 1. ユーザー・プログラムをユーザー・オプションとして起動させる方法 | 3頁 |
| 2. ユーザー・プログラム開発上の注意点 | 8頁 |

WILCOMM メッセージリストのユーザー・オプション機能

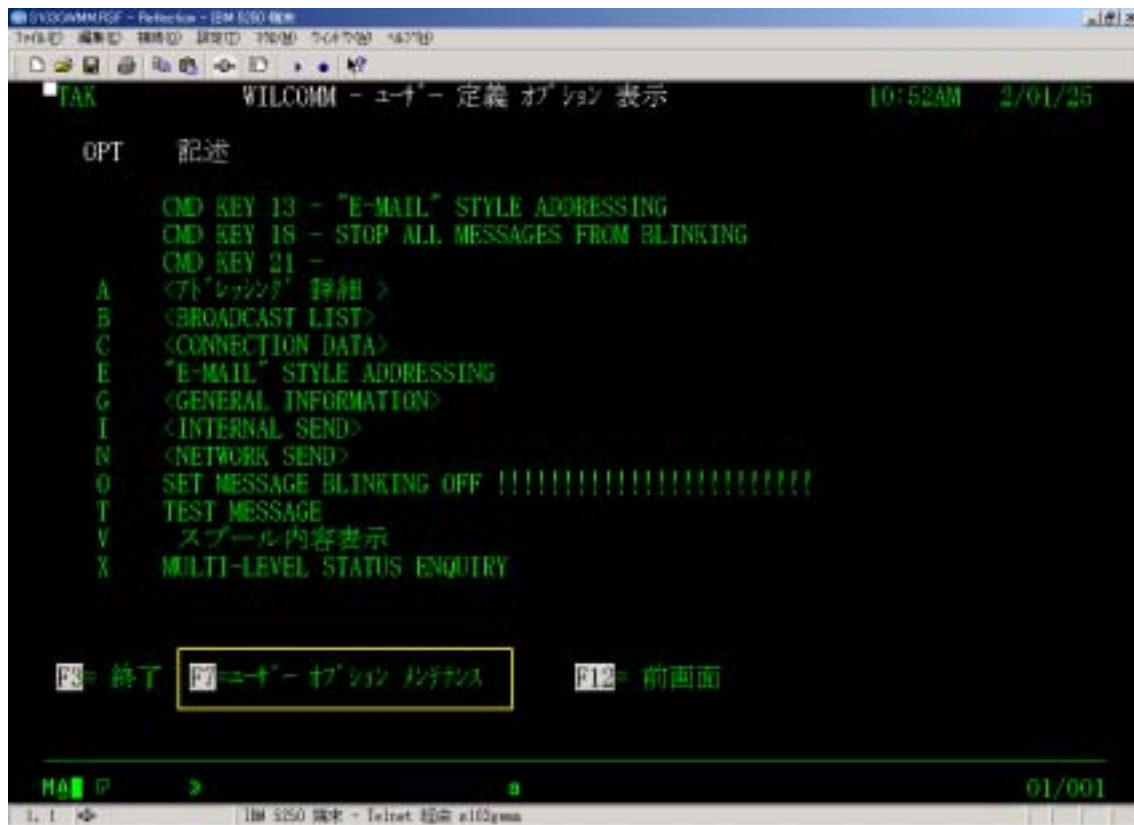
ユーザー・プログラムをユーザー・オプションとして起動させる方法



WILCOMM メッセージリスト画面の黄色枠部分のオプション入力フィールドに、ユーザー指定のオプション ID を入力することによって、ユーザー・プログラムを起動する方法について解説します。

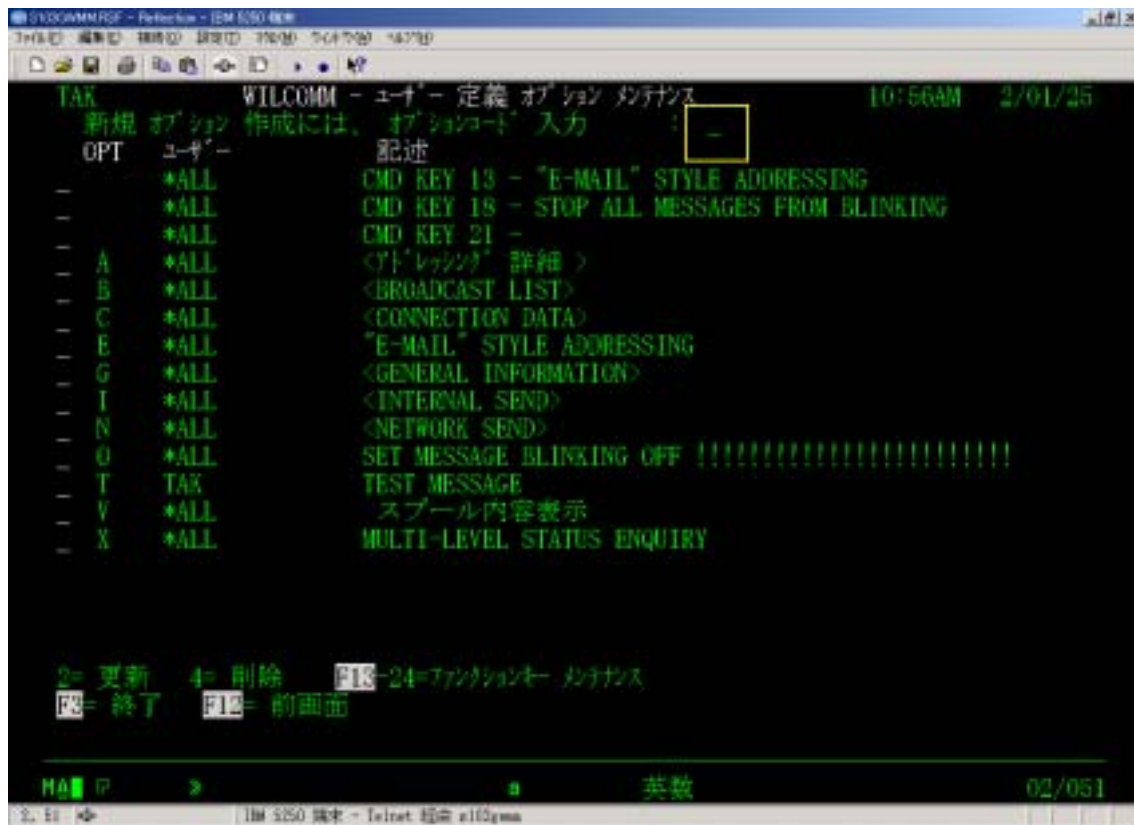


「F9：ユーザー・オプション」を選択します。

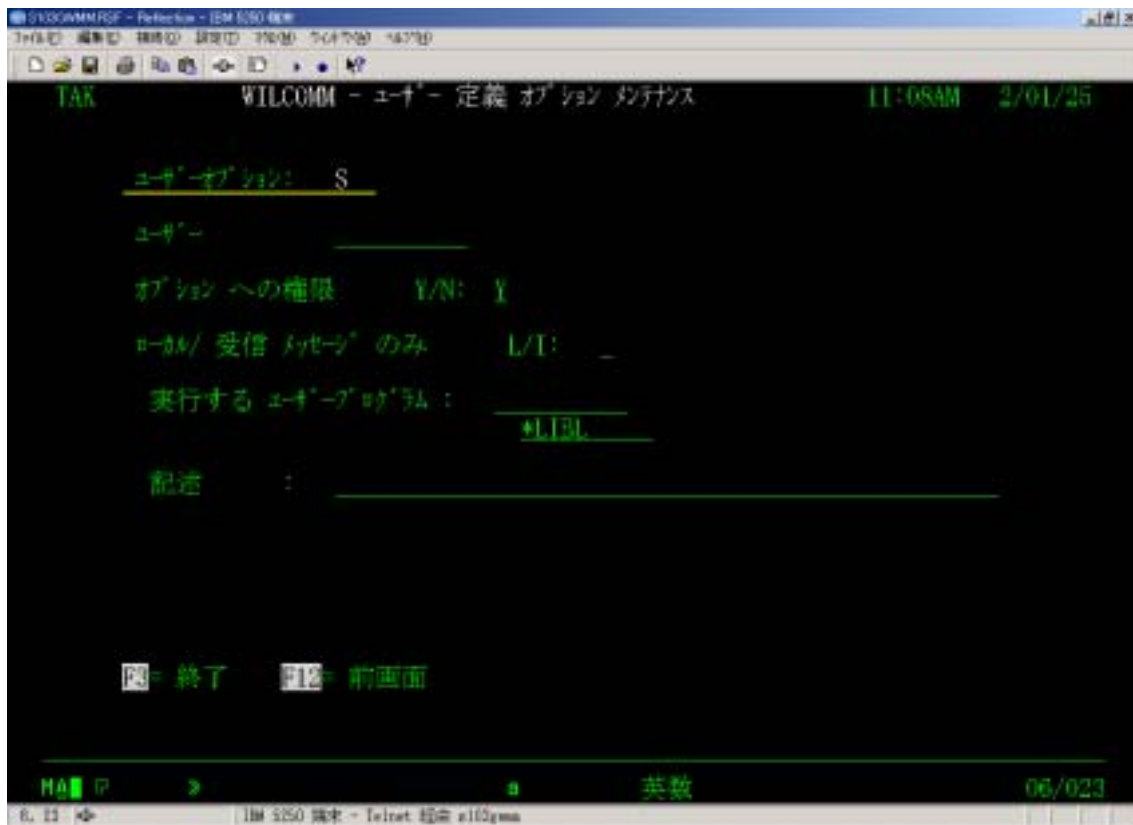


既登録のオプション機能が一覧表示されます。

新規追加登録のために「F7: ユーザーオプション メンテナンス」を選択します。



新規追加登録したいオプションIDを1バイト指定します。
 1～9の数字を除く文字を使用してください。



ユーザーオプション：S を選択した場合の例です。

ユーザー ： このオプションの使用を許可するユーザーを指定します。全ユーザーの場合は「*ALL」を指定します。

オプションへの権限 ： 「Y」を指定します。一時的にこのオプションの使用を停止したい場合に「N」を指定します。

ローカル/受信メッセージのみ ： 送信メッセージに対してのみ、このオプションを許可する場合は「L」を指定します。受信メッセージに対してのみ許可する場合は「I」を指定します。ブランクは両メッセージに対して許可する場合となります。

実行するユーザー・プログラム ： 起動させたいプログラム名とライブラリ名を指定します。

記述 ： 起動プログラムに関する説明を入力します。

上記パラメータ設定が終了したら「実行キー」で登録します。

ユーザー・プログラム開発上の注意点

WILCOMM メッセージリストからオプション I D で呼び出されるプログラムは、以下のパラメータを受け取るように設計する必要があります。

- 第1パラメータ : 1 バイト 文字属性 (オプション I D)
- 第2パラメータ : 1 バイト 文字属性 (メッセージ・タイプ)
- 第3パラメータ : 10 バイト 文字属性 (メッセージ NO)

WILCOMM メッセージリストは、オプション I D で呼び出すプログラムに上記パラメータを渡しますので、パラメータ値を使用する／しないに関わらず指定する必要があります。

(パラメータ値)

第1パラメータ (オプション I D)

WILCOMM メッセージリストで入力したオプション I D

第2パラメータ (メッセージ・タイプ)

「0」:送信メッセージ / 「1」:受信メッセージ

第3パラメータ (メッセージ NO)

WILCOMM メッセージリストでオプション I D を指定したメッセージのメッセージ NO
(下図の黄色枠)

